

## 環境レビュー結果

2025年12月5日

国際協力機構 資金協力業務部 実施監理第四課

案件名：地震の影響を受けた主要経済インフラの緊急復旧計画	
1. スキーム	無償資金協力
2. 国名	バヌアツ
3. プロジェクトサイト／対象地域名	首都ポートビラ
4. 事業の目的	本事業は、ポートビラ地震の被害を受けたタガベ橋を含む重要物流インフラの緊急復旧及び必要な機材を供与することにより、国内幹線道路における安全で滞りない往来と物流を図り、もって脆弱性を克服した持続可能な経済成長の基盤強化に寄与するもの。
5. 事業内容	<ol style="list-style-type: none"><li>1. タガベ橋架替</li><li>2. 迂回路橋の新設</li><li>3. 迂回橋へのアクセス道路</li><li>4. 河川護岸工</li><li>5. 親水施設</li><li>6. 橋梁維持管理機材の導入</li><li>7. 病院/空港の修繕（予算に余裕がある場合）</li><li>8. 日本技術の導入とソフトコンポーネントの活用による維持管理システムの強化</li></ol> ※予算がすべてのプロジェクト範囲をカバーできない場合は、一部の範囲については内容を見直す可能性あり。
6. 環境社会配慮	<p>①カテゴリ分類：B</p> <p>②カテゴリ分類の根拠： 本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2022年1月公布）に掲げる道路・橋梁セクターのうち大規模なものに該当せず、環境への望ましくない影響が重大でないと判断され、かつ、同ガイドラインに掲げる影響を及ぼしやすい特性及び影響を受けやすい地域に該当しないため。</p> <p>③環境許認可：本事業に係る初期環境調査（IEE）報告書は2025年12月に環境保護保全局により承認済み。</p>

④汚染対策：工事中の重機による大気汚染及び騒音振動、タガベ川の水質汚濁及び掘削土等の廃棄物等の影響が想定されるが、整備された建設機械・トラックの使用、現場での散水、汚濁防止施設の設置、給油中の二次封じ込め容器／回収容器の使用、建設廃棄物のリサイクル／再利用及び適切な処分等を行い、負の影響は最小化する見込み。

⑤自然環境面：本事業対象地域は、国立公園等の影響を受けやすい地域またはその周辺に該当せず、自然環境への望ましくない影響は最小限であると想定される。

⑥社会環境面：本事業は公用地で実施されるため用地取得を伴わないが、非正規住民 2 世帯計 22 人の非自発的住民移転を伴うため、同国国内手続き及び JICA 環境社会配慮ガイドラインに沿って作成された住民移転計画（RAP）に沿った移転が進められる。本事業に係る RAP 報告書を作成し、2025 年 12 月に土地資源省により承認済み。住民移転に関する住民協議では、十分な補償、事前の情報公開等を求める声があったため、被影響住民の要望を反映した補償及び住民移転手続きの実施が行われる予定である。被影響住民から事業に係る特段の反対意見は出ていない。

⑦その他・モニタリング：本事業は MIPU の監理のもと施工業者が工事中の大気汚染、騒音・振動、水質汚濁及び廃棄物等をモニタリングし、供用時は MIPU がモニタリングする。